

「第40回世界情報社会・電気通信日のつどい」 盛大に開催される

(財)日本ITU協会 企画部



写真1. 記念式典模様

5月16日、日本ITU協会・世界情報社会フォーラム協議会主催の「世界情報社会・電気通信日のつどい」が京王プラザホテル（新宿区西新宿）で盛大に開催されました。

財団法人日本ITU協会では、従来、ITUの基礎となった最初の万国電信条約が署名された5月17日に「世界電気通信日」の記念式典を開催し、関係者の皆様の御参加をいただいてその記念日を祝賀してきました。本年からは、2006年11月のITU全権委員会において上記記念日が「世界情報社会・



写真2. 佐藤総務副大臣祝辞



写真3. 鶴岡地球規模課題審議官祝辞

電気通信日（World Telecommunication and Information Society Day）として、その意義の拡大が決議されたことを受けて、これまで10月6日の「国際協力の日」に通信・放送国際協力フォーラム協議会（現:世界情報社会フォーラム協議会）と共に開催していました記念式典を統合し、情報社会や国際協力という更にグローバルな視点に立って記念式典を開催することとしました。

式典では、冒頭、有富理事長からのあいさつに続き、来賓の佐藤総務副大臣、外務省 鶴岡地球規模課題審議官からご祝辞をいただきました。佐藤総務副大臣からは、世界最高水準のインターネット基盤の活用やICTと気候変動問題への取組を通じて、時代の変化に対応した、我が国の経済成長、地域活性化、ICT産業の国際競争力の強化等に向けて、国際機関及び国際協力の活動に積極的に取り組んでいきたいとの御意向を御披露いただきました。また鶴岡審議官からは、ICTによる世界平和や環境への貢献について述べるとともに、ITUをはじめとする国際機関勤務の法人職員増加に向けた外務省の取組についてもお話をいただきました。

引き続きITU等における国際標準化活動や国際協力活動を通じ、情報社会の実現に貢献された方々の表彰が行われました。

式典の後、京都大学大学院情報学研究科教授の松山隆司氏による、「エネルギーの情報化」～電力ネットワークと情報ネットワークの結合による安全・安心なエコライフの実現を目指して～と題しての記念講演が行われました。ICTの利活用による生産・消費・業務活動の飛躍的な効率化や、交通代替や渋滞緩和等によるCO₂排出削減について、家庭内から地域、国レベルでの貢献への可能性を示されました。



写真4. 講演する松山氏